

## 明石北わんぱく広場管理基準

### (目的)

第1条 この基準は、明石市都市公園条例並びに同施行規則に定めるもののほか、明石北わんぱく広場(以下「広場」という。)の管理について必要な事項を定めるものとする。

### (責任者)

第2条 広場に責任者を置く。なお、責任者は、石ヶ谷公園の責任者と兼ねることができる。

### (開場日、開場時間及び変更)

第3条 開場日は、1月2日から12月31日までとする。ただし、月曜日(休日に当たるときは、その日を除く。)は休場日とする。

2 開場時間は、別表1のとおりとする。

3 責任者が広場の管理上特に必要と認める場合は、市と協議の上、開場日又は開場時間を変更することができる。

### (管理人)

第4条 開場中は、常時1名以上の管理人を配置するものとする。

### (利用制限等)

第5条 利用の内容が次の各号に該当する場合においては、利用を許可しないものとする。

- (1) 公安又は風俗をみだすおそれがあるもの
- (2) 施設又は設備を損傷するおそれがあるもの
- (3) 他の利用者及び周辺施設等に迷惑をかけるおそれのあるもの
- (4) その他市と協議のうえ責任者が利用を不適当と認めるもの

2 責任者は、広場の利用の公平を期するため必要と認めるときは、利用を制限することができる。

3 管理上支障があるときは、利用を中止又は禁止することができる。

4 利用者が明石市都市公園条例、同施行規則及びこの基準に違反した場合は、利用者の責に帰すべきものとして利用を制限することができる。

### (損害賠償等)

第6条 利用者は、広場の利用に関して、施設又は設備を損傷、汚損、破損又は滅失したときは、当該行為が何人によるものであっても、管理者の指示するところに従い、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

### (入場の制限)

第7条 次の各号に該当する者に対しては、広場への入場を拒絶し、又は広場から退場を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者及びこれらのおそれのある物品を携帯する者
- (2) 犬などのペットを連れ込もうとする者。
- (3) 泥酔者及び伝染性の疾患を有する者
- (4) 管理上必要な指示に従わない者

(5) その他責任者において支障があると認める者

(管理業務の一部委託)

第8条 広場の管理を円滑に行うため、当該管理業務のうち、施設の警備及び清掃、設備機械の管理業務については、市と協議の上、特定の者に委託することができる。

(スポーツ教室等の開催)

第9条 責任者は、市民の健康の増進及び体力の強化並びにスポーツの振興に寄与するため、広場の一般使用に支障のない範囲内で、各種のスポーツ教室等を開催することができる。

(水質検査の実施)

第10条 広場南側の大池で、年2回(8月及び11月)、別表2のとおり、計量を実施すること。

(雑則)

第11条 この基準に定めるもののほか、広場の管理上必要な事項は、市と協議の上、責任者が定める。

附 則

この基準は、令和5年4月1日から施行する。

別表1 開場時間

月	平 日	休 日
1～2月	午前9時～午後4時	午前9時～午後4時
3月	午前9時～午後5時	午前9時～午後5時
4～6月	午前9時～午後5時	午前9時～午後6時
7～8月	午前9時～午後6時	午前9時～午後6時
9～10月	午前9時～午後5時	午前9時～午後6時
11月	午前9時～午後5時	午前9時～午後5時
12月	午前9時～午後4時	午前9時～午後4時

別表2 計量の対象及び方法

計量対象	計量の方法	
気温	JIS K 0102-7.1	
水温	JIS K 0102-7.2	
水素イオン濃度	JIS K 0102-12.1	ガラス電極方
電気伝導率	JIS K 0102-13	
塩化物イオン	JIS K 0102-35.3	イオンクロマトグラフ方
浮遊物質(SS)	環境庁告示第59号付表8	ろ過重量方
科学的酸素要求量(CODMn)	JIS K 0102-17	滴定法
生物学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102-21. JIS K 0102-21	隔膜電極法
溶存酸素量(DO)	JIS K 0102-32.3	隔膜電極法
窒素含有量	JIS K 0102-45.2	市外線吸光光度方
燐含有量	JIS K 0102-46.3.2	硝酸・過塩素酸分解法